

## 看護観レポートから

### 帰宅願望のある 認知症患者さんとの関わりから……

患者さんの思いやニーズに寄り添う事の大切さを学びました。

ストレス源を最小にし、ストレス反応を軽減するためのケアを行うことができ、患者さんの笑顔を見る事ができました。

早期退院に向けて、家族からの協力を得たり、多職種連携を図ることの大切さも学びました。

卒後4年目看護師

### 下肢動脈閉塞による疼痛を抱えた 終末期の患者さんとの関わりから……

患者さんの言語的表現だけではなく、非言語的表現にも注意を払い、適切な対応を考えていくことが大切だと学びました。

患者さんが望んでいることを確認しながら対応していくことで、その人らしさを大切にすることに繋がっていくことを学びました。

卒後4年目看護師

施設への再入所に向けて退院支援を行いました。しかし、CVの管理や酸素吸入・終日吸引が必要となったため、地域包括の病棟期限間近で、別の施設への退院調整に変更になりました。

リハビリによる経口摂取の評価や主治医との情報共有・ICの設定、MSWへ施設再調整の依頼などを行いました。

退院後も患者さんが必要な医療を継続して受けられ、患者さん・ご家族が安心できる様に、多職種と連携し、退院先を調整することができました。  
チームリーダー看護師



プライマリーとして、生活についての疑問や不安などが無い確認したり、ご家族の面会時には、患者さんの様子をお伝えし、退院後の生活についての希望などをうかがいました。

ストレッチャーでのシャワー浴の計画を立てたり、栄養の代替方法を意思決定できる様に、声をかけながらご家族を見守りました。

自分の勤務時以外の患者さんやご家族の様子について、スタッフや担当のセラピスト、MSWからの情報を参考にしながら取り組み、多職種連携の大切さを実感しています。  
チームリーダー看護師



### 編集後記

スタッフそれぞれが、看護師として患者さんや家族の気持ちやニーズに向き合い、そして退院後の生活にも、目を向けて関わっていました。

患者さんご家族のスマイルに繋がっていきけるように、これからも一緒に取り組んでいきましょう。

緩和ケア認定看護師

